

「まちづくりの目標（案）」と「まちづくりの基本方向（案）」の関連性について

まちづくりの目標		まちづくりの基本方向	
将来の都市像	まちづくりの基本目標 (6つの未来都市の実現)	2050年に目指すべき状態	位置付けられる主な分野および取組の基本方向 ※第5次総合計画後期基本計画の25の基本施策を暫定的に配置している
(仮) みんなが つながり 輝き続ける うつのみや	結婚・出産・子育ての 切れ目のない支援と次世代の 「人づくり」が充実した 「子育て・教育の未来都市」	・市民の結婚や妊娠・出産, 子育てに対する希望が叶えられ, すべての子どもが愛され健やかに成長できる社会が実現している。 ・子どもから大人までの誰もが夢や希望を持ち, その実現に必要な様々な教育を享受できる社会が構築されるとともに, そうした教育の充実により, あらゆる分野において必要な人材が継続的に輩出されている。	◎子育て, 教育, 学習 など ・愛情豊かに子どもたちを育む ・生涯にわたる学習活動を促進する ・信頼される学校教育を推進する ・生涯にわたるスポーツ活動を促進する ・健全な青少年を育成する ・市民の相互理解と共生のこころを育む など
	健康づくりと医療・福祉の連携により, 誰もが生きがいを持って 自立した生活を送れる 「健康・福祉の未来都市」	・市民一人ひとりとはもとより, 地域や事業者などにおいても, 健康に対する高い意識が醸成され, 社会全体で健康づくりに取り組まれており, 誰もが元気で心身ともに豊かで充実した生活を送っている。 ・保健・医療・介護・福祉などのセーフティネットが安定して確保され, 高齢者や障がい者をはじめとする全ての市民が幸せに暮らせる環境が整っている。	◎保健, 福祉, 健康 など ・保健・医療サービスの質を高める ・高齢期の生活を充実する ・障がいのある人の生活を充実する ・都市の福祉力を高める など
	地域のつながりや支え合いにより, 誰もが日常生活の不安なく, 安全・安心に暮らせる 「安全・安心の未来都市」	・地域の住民が互いの信頼のもと, 地域の課題を主体的に解決できるコミュニティと支え合うネットワークが構築されており, 市民が住み慣れた地域で安心して暮らしている。 ・様々な災害に対応できる強靱なインフラとあらゆる危機に迅速かつ着実に対応できる体制が整えられるなど, 安全な社会が構築されている。	◎安全・安心, 市民協働, 行政経営 など ・日常生活の安心感を高める ・危機への備え・対応力を高める ・上下水道サービスの質を高める ・良好な水と緑の環境を創出する ・市民が主役のまちづくりを推進する ・行政経営基盤を強化する など
	地域資源の魅力創出と発信により, 人や情報が行き交い活力が生まれる 「魅力創造・交流の未来都市」	・先人から受け継いだ歴史や文化を大切にしながら, 「大谷石」をはじめとする本市の様々な地域資源が国内外において認知されるなど, 宇都宮ブランドが確固たる地位を築いており, 人々の盛んな交流により, 市民の郷土への誇りや愛着がさらに高まっている。	◎観光, 交流, 文化, 都市魅力創造, 宇都宮ブランド, 情報 など ・個性的な市民文化・都市文化を創造する ・魅力ある観光と交流を創出する など
	本市の確固たる経済力の 維持・発展と環境都市の実現が 両立する 「産業・環境の未来都市」	・あらゆる時代潮流の変化に柔軟に対応できる産業都市が構築されるとともに, 市内の各種産業が強みを活かしながら新たな価値を創造し続けている。 ・市民の誰もが地球環境の保全を意識して行動し, 本市の豊かな自然環境が維持されるとともに, 低炭素型・循環型の地域社会が構築されている。	◎農業, 商業, 工業, 環境 など ・脱温暖化・循環型の環境にやさしい社会を形成する ・地域産業の創造性・発展性を高める ・商工業の活力を高める ・農林業の付加価値を高める など
	魅力ある拠点の創造と 骨格の強い交通ネットワークが 構築された 「交通の未来都市」	・本市の顔となる中心市街地においては, 高次の商業, 業務, 文化などの都市機能が集積されているとともに, 各地域においても, 地域の特性を活かした拠点が形成され, 市民の快適な暮らしを支える医療, 福祉, 商業などの日常生活に必要な機能が充足している。 ・市民や来訪者が行きたいところへ自由かつ快適に移動できるなど, 日本を代表する総合的な交通ネットワークが完備されている。	◎交通, 都市基盤 など ・快適な住環境を創出する ・機能的で魅力のある都市空間を形成する ・円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する など